

480カ所 1000人視聴 京都1区オンライン演説会の経験

総選挙勝利へ日本共産党京都1区本部主催の「オンライン大演説会」が21日にライブ配信され、田村智子党副委員長、こくた恵二衆院議員（近畿比例・京都1区予定候補）、たけやま彩子比例予定候補らが党躍進を訴えました。

視聴は1区で300カ所、約700人、全体で480カ所、約1000人。この日、演説を聞いた女子学生と府北部の与謝野町で入党決意がありました。



●「演説者が身近に。楽な状態で」—オンラインの利点鮮明

感想文は45通以上。「椅子に座って聞け、話に集中できた」「演説する人が身近に感じられ、楽な状態で見られる」「大きな画面で見られてよかった」など、オンライン演説会のメリットがストレートに伝わるものでした。下半身不随で演説会に来たことがないという人が自宅で視聴、「これはいい。これなら今後も演説会を聞ける」という感想を寄せました。



●構えと工夫

1区本部は、「比例得票目標実現、こくた勝利、政権交代実現には大きな構えで有権者に働きかける大波を」との「訴え」を1月25日に出し、「構え」を明確にし、組織活動の飛躍をかちとって演説会にのぞむよう訴えました。オンライン演説会に慣れてもらうことを眼目の一つに、1月24日には「まちづくりシンポ」2月6日には医療・介護・公衆衛生シンポを開催しました（その以前にも3企画）。

今回はその集大成ともいべき取り組みで、ライン公式、ツイッター、府委員会のホームページ、日刊紙折り込みで周知を図り、ニュースでオンラインでの視聴方法を知らせ、取り組みを交流しました。

演説会の内容は1区本部でかなり議論し、「いかに臨場感、ライブ感」を出すかで知恵を出しあい、予定候補、実態告発弁士だけでなく田村副委員長には国会の議員室からライブ出演してもらいました。こくた議員のキャッチフレーズが「野党共闘のカナメ」であり、辻元清美衆院議員（立憲）との対談を企画（ビデオ）、大好評でした。

●「支部が主役」に徹して 43支部が3カ所以上で開催

「支部が主役」に徹して視聴の取り組みを進めました。オンライン演説会は「近くで気軽に、小集会・集いのように開け、その場で話し合い、感想を出し合える」と利点を伝え、1支部で3カ所以上の開催を呼びかけました。

その結果、3カ所以上は北地区10支部、中京地区21支部、南地区12支部の43支部になりました。最高は5カ所で、一般の会場は2カ所で57人が視聴しました。従来の支部主催の演説会は1地区で1日、せいぜい2～3カ所。一度に2けたの「支部演説会」は画期的です。職場支部も1区以外に居住している人も自宅で視聴。昨年、田村副委員長の演説会がコロナで中止となった府北部でも積極的に取り組み、舞鶴地区では20カ所で40人が視聴しました。

●3.20 近畿演説会成功へ

辻元衆院議員をよく知っているという上京区の有名企業の事務職の人は「共産党のことがよく分かったし、野党が共闘して政権を取ってほしいと思う。社民党を応援しているが、上京には小選挙区候補がない。今度はこくたさんと共産党に入れることに決めた」と言います。3.20志位演説会を案内すると、視聴を約束してくれました。オンライン演説会には思わぬ波及効果があります。

1区本部では「3.20成功の弾みになった。3.20はより大規模な視聴になるよう全力をあげたい」と決意しています。

21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 11(2021.2.22)